

## 第22回富山県少年野球大会

日時	予選	7月5日(土)、12日(土)、19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)、26日(土)、27日(日)、 8月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、11日(月・祝)				
	決勝	11月1日(土)、2日(日)、3日(月・祝)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、22日(土)、 23日(日)、24日(月・祝)、29日(土)、30日(日)				
会場	予選	常願寺グラウンド、宮野運動公園多目的				
	決勝	宮野球場、宮野運動公園多目的、新港野球場				
試合方法	予選	5回戦	1ブロック3チームの総当り 1位チーム決勝進出			
	決勝	6回戦	トーナメント			
表彰	優勝杯	優勝盾	金メダル	最優秀選手	最優秀投手	優秀選手
	次勝杯	準優勝盾	銀メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
	3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞	
	3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞	
参加費	12,000円					
参加申し込み	富山県少年野球連盟 (メール添付にて送付)					
事務局	スポーツ・ワイズ 富山県高岡市古国府6-36					

## 第 22 回富山県少年野球大会要項

目的	スポーツを通じ、各地域のスポーツ少年団の親睦と交流を深め健全な心身の育成に努めることを目的とする。
主催	富山県少年野球連盟
協賛	ハイゴールド株式会社 ダイワマルエス株式会社 ベースボールハウス MVP MVP スポーツ整体 有限会社ウェーブ商品開発
後援	(有)ワイズカンパニー
特別協賛	富山新聞社
参加資格	全軟学童に登録し、スポーツ障害保険に加入しているチーム
チーム構成	選手 18 名、監督 1 名、コーチ若干名とする。
大会規約	① 試合球はダイワマルエス J 球を使用し、大会本部で用意する。 ② ベンチは組み合わせ番号の小さい方を 1 塁側とする。 ③ 試合開始 30 分前に集合しオーダーを提出し攻守の決定を抽選で決める。 ④ 予選時はパンフレット記載メンバーのみ試合出場可能とする。決勝トーナメントは 1 回戦までの変更は可能とする。

### 予選の試合方法

- ① 1 ブロック 3 チーム編成をとり、総当りを行う。
- ② 1 試合 5 イニングとし、1 時間 10 分の時間制限を設ける。時間制限は以下を規定とする。
  - ・インニングの表終了時点で制限時間が超過している
    - 先攻が勝っている/同点の場合 ⇒ そのインニングの裏を最終回とする
    - 後攻が勝っている場合 ⇒ 試合終了
  - ・インニングの裏終了時点で制限時間が超過している
    - 先攻が勝っている場合 ⇒ 試合終了
    - 後攻が勝っている/同点の場合 ⇒ 次のインニングを最終回とする
- ③ 3 回 10 点差、4 回 7 点差でコールドゲームとする。
- ④ 同点での延長戦は、特別延長(ノーアウト 1・2 塁、継続打順)で行う。特別延長を 1 イニング実施しても決着がつかない場合は、2 イニング目まで実施する。それでも決着がつかない場合は、抽選とする。
- ⑤ 勝ち点の算出方法は、3 回コールド勝ち 5 点、4 回コールド勝ち 4 点、勝ちチーム 3 点、負けチーム 0 点とし、総得点により予選順位を決定する。順位に関して次の処置をとる。
  - (1) 勝ち点の多い方が上位となる。
  - (2) 勝ち点と同点の場合は、失点率の低いチームを上位とする。
  - (3) 失点率が同率の場合は、得点率の高いチームを上位とする。
  - (4) 失点率/得点率ともに同率の場合は、抽選とする。ここで、失点率/得点率の算出には特別延長を含まないこととする。
  - ※失点率とは失点を守備機会のアウトカウントで割った値とする。
  - ※得点率とは得点を攻撃機会のアウトカウントで割った値とする。
- ⑥ 1 位チームが、決勝トーナメントに進出する。
- ⑦ ボークは、1 回目は注意とし、2 回目から正式に宣告する。あきらかなボークは 1 回目から宣告する。
- ⑧ 審判は 3 チームのうち、試合を行っていない残りの 1 チームが行う(主審含む)。
- ⑨ 雨天の場合、当日第 1 試合、30 分前に中止決定を決める。試合途中の雨日没等のコールドゲームは 4 回終了を規定とする。
- ⑩ 打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを着用し、捕手は、マスク、プロテクター、レガースを使用し、ゴムスパイクまたは運動靴を使用する。
- ⑪ 審判への抗議は、監督、主将のみとする。但し、主審がすべての権限を持つこととする(明らかな誤審の場合は、主審/塁審の協議の上、最終決断は主審が行うこととする)。指導者として大会の秩序を乱す行為および言動が発覚した場合、以後の大会出場を制限することがある。
- ⑫ 試合前に各チームは会場準備にご協力をお願い致します。また、試合終了後、使用したベンチおよび応援席、そのまわりの清

掃にご協力をお願い致します。

- ⑬ 予選リーグで棄権したチームは、その該当試合を 0-9 で不戦敗とする。すでに予選リーグの 1 試合を実施済みの場合は、その実施済みの試合も 0-9 での不戦敗とする。
- ⑭ 投手の投球制限は 1 日 7 0 球までとする。但し、70 球を超えた打者まで投球可能とする。

#### 決勝の試合方法

- ① 試合は、6 回戦とし、4 回以降 7 点差でコールドゲームとする。同点の場合は最大 2 イニングまでの特別延長を行う。(1 イニングで決着がつかない場合のみ 2 イニング目を行う。)
- ② 試合途中の雨、日没などのコールドゲームは 5 回終了を規定とする。4 回以前は後日継続試合とする。
- ③ 試合時間は、1 時間 20 分を制限とする。1 時間 20 分以降は均等回完了をもって試合は終了する。
- ④ 投手の投球制限は 1 日 70 球までとする。但し、70 球を超えた打者まで投球可能とする。
- ⑤ 同点での延長戦は、特別延長(ノーアウト 1・2 塁、継続打順)で行う。特別延長を 1 イニング実施しても決着がつかない場合は、2 イニング目まで実施する。それでも決着がつかない場合は、抽選とする。
- ⑥ ボークは、1 回目は注意とし、2 回目から正式に宣告する。あきらかなボークは 1 回目から宣告する。
- ⑦ 打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを着用し、捕手は、マスク、プロテクター、レガースを使用し、ゴムスパイクまたは運動靴を使用する。
- ⑧ 審判への抗議は、監督、主将のみとする。但し、主審がすべての権限を持つこととする(明らかな誤審の場合は、主審/塁審の協議の上、最終決断は主審が行うこととする)。指導者として大会の秩序を乱す行為および言動が発覚した場合、以後の大会出場を制限することがある。
- ⑨ 試合前に各チームは会場準備にご協力をお願い致します。また、試合終了後、使用したベンチおよび応援席、そのまわりの清掃にご協力をお願い致します。
- ⑩ 審判は、参加各チーム登録の 2 名を出し、1 日 4 試合の会場では、1 試合目は 2 試合目のチームで、2 試合目は 1 試合目のチームで、3 試合目は 4 試合目のチームで、4 試合目は 3 試合目のチームで行う。また、1 日 3 試合の会場では、1 試合目の審判は 3 試合目のチームで、2 試合目の審判は 1 試合目のチームで、3 試合目の審判は 2 試合目のチームで行う。なお、主審は両チームの話し合いで決定することとする。準決勝および決勝については、本部で行う。

#### 審判の服装

※審判は予選、決勝とも黒または紺の帽子、運動靴を必ず着用すること。

#### 重要事項

※試合会場の準備などのサポートを以下の通りお願いいたします。

- ・予選時：各チームより 1 名、自予選ブロックの会場準備などのサポート
- ・決勝時：審判担当の試合について、両チームでの会場準備などのサポート

※予選の試合会場の準備、後片付けは当該チームでお願いいたします。

※車の路上駐車は厳禁です。必ず駐車場に停めるようお願いいたします。

※棄権した場合でも、担当審判は必ず実施してください。

※質問・連絡等、事務局への電話による問い合わせは、必ず監督もしくはヘッドコーチが行ってください。父兄からの問い合わせには一切応じることができませんので、ご了承ください。

※試合中および移動に関わるケガおよび事故は、応急処置のみ対応します。

※雨天中止について、事務局からの連絡は行いません。

- ・第一試合の両チームおよび第二試合の審判の方は第一試合開始 30 分前までに試合会場まで来ていただき、ご確認ください。
- ・第三試合以降のチームの方は、以下のホームページでご確認ください。当日の試合実施状況を 9:30 までに更新いたします。
- ・予選リーグにおいては、後日、3 チームで試合日程を調整してください。決定した試合日程を即座に事務局までご連絡ください。

※試合状況によっては開始時刻が早まることがありますので、会場には余裕をもってお集まりください。

富山県少年野球連盟 ホームページ <http://www.toyama-jbl.jp/>  
メールアドレス [secretariat@toyama-jbl.jp](mailto:secretariat@toyama-jbl.jp)